

OS交配

ブルームレス(台木用南瓜)

いっ

き

一輝1号

(強勢改良型)

キラ
輝めく美果



栽培のポイント

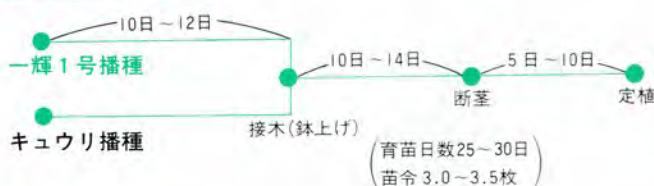
播種期による栽培の難易(関東標準)

- 適した播種期 12月中旬～8月中旬播種
- 播種可能期 11月下旬～12月上旬、8月下旬～9月上旬播種
- 栽培が難しい播種期 9月中旬～11月中旬播種

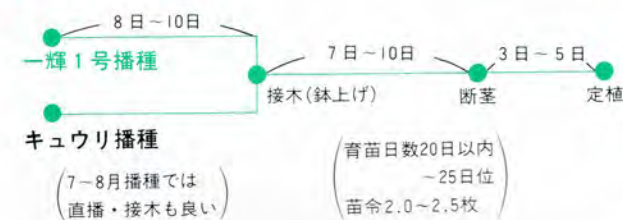
育苗の日程と日数

■一輝1号は9月まきから8月まきまでいつもキュウリと同一日に播種して下さい。

●9月～3月まき



●4月～8月まき



○鉢上げせずに接木当日に定植する場合は、ほぼ接木できる位に生育したキュウリ苗を接木予定日の2～3日前から日中若干シオレる位に土壤水分を控えて堅く伸すと接木や定植後に日除けをしなくてもよく活着する。

○呼び接木——鉢あるいは、圃場に直まき接木(夏期)キュウリと一輝1号南瓜を同時に1cm以内の間隔に播種する。播種後8～10日位が接木適期となるが苗を引抜かず台木の芽のみ摘みながら接木する。移植しないことや間隔が広いため生育が早く充実した生育をし一層の良質、多収穫となる。

播 種

- ①播種は種子の浸水はせずに全期に亘ってキュウリと同じ日にまくと良い。間隔はウルトラ南瓜や黒種南瓜等と同じく広目にして茎を太らすと良い。
- ②床土の厚さ6cm位、良質床土を用い覆土は種子が見えなくなる位、適湿を守る(排水の良い床土)、過湿になると発芽不揃いになり易いので注意する。発芽迄は新聞紙マルチにより地温と湿度の均一化をはかると良い。
- ③発芽適温は地温28～30℃、発芽後の温度管理はウルトラ南瓜等と同様に接木まで徒長しないように徐々に下げ、水分もやや控え目にし、胚軸を太くする。胚軸が細長く伸びるようなら本葉(芯)を早目に除去する。

接木と鉢上げ

①床土は完熟堆肥にリンサンを含ませた保水、通気、保肥力に富むものが良い。

床土のEC 0.8位・PH6.0位	
床土1㎡(4寸鉢、約1000ヶ)	
チッソ	300g位
リンサン	1000g位
カリ	200g位

- ②接木位置(呼び接木)は貝ワレ葉に近い高い所が良い。
- ③接木後の気温、地温、水分はウルトラ南瓜等と同様に活着を早めるため、高めの温湿度管理とし、しおれを避け、日除けや葉水で調整する。呼び接木の胡瓜の断茎は、接木部分の活着を十分確認し、やや遅めが良い。
- ④よごれたビニール等による光線不足や、極端な低い地、気温(最低18℃、13℃)や過湿、過乾をさける。接木活着後はウルトラ台木等より地、気温とも1～2℃高目が良い。
- ⑤育苗日数は、活着を早めるため、ウルトラ南瓜等よりもやや短い方が良いが、根の張りを十分確認し、定植時の鉢土のくずれによる根傷みのない様にする。

定 植

●活着を早め、太茎のしっかりした生育をはかり収穫が始まっても草勢を維持できるように圃場の準備をする。

- ①元肥は作型を越えウルトラ等台木に比し10～20%位多目に施用する。収穫最盛期になっても草勢が維持できるように耕土を深く、有機物や有機質肥料を十分に施し長期に亘り肥効となるようにすると良い。
- ②ベッドを作る前か定植の数日前にベッドの土中水分が飽和状態になる位、地下水と結びつく位に十分な灌水をする。
- ③植え穴に根付肥として液肥等でチッソとリンサンを与えて活着を促す。
- ④冬期の定植では、ポリマルチングと定植2～3日前から日中密閉と夜間暖房で地温20℃以上に保ち活着を早める。
- ⑤定植後は昼夜とも高目の温、湿度を保つ。

気 温	日中27～30℃ (曇天は20℃)	地 温	18℃以上
	夜間15～16℃		
湿 度	晴天午前中80%を目安に乾けば通路等に散水する		
	夜 間	//	//

- 定植後、ホースにて株元灌水し、個体や場所の差を整え全体を均一にする。
- ⑥高気温時期は換気を良くし、乾燥期には湿度保持につとめる。

活着

●本葉6～7枚、つる上げ早く、茎太く稲妻形に、葉は水々しく大き目、上への生育を急がない。

- ①活着が良ければ根を更に深く張らせる為に少々灌水を控える、(土中水分があれば地表面が乾いても良い。但し、しおれ厳禁、午前中の空気中は多湿に。)
- ②温度によるシメ作りのため、夕方は、低目気温管理(時間毎に下降温度に。)
- ③下位3～5節の側枝の摘除。
- ④地温18℃以上、夕方はむし込まず、夜の気温を12℃～14℃(9・10・11月は10℃を限度にできるだけ低目)にして茎葉と根張りのバランス良い生育をはかる。

主枝摘芯

●力強い生育を、一層強健な草勢に育てる。

- ①最も旺盛な時期が本葉15枚時、この芯の大きさ、この勢いを主枝摘芯まで持続。
- ②肥効が充分でも大葉、つるぼけ、出来すぎ等に、なりにくく果の肥大が早く、順調なので積極的な肥培管理をする。
主枝の果、2～3本が開花し、少しずつ肥大が始まったら――灌水、追肥(10a当り1回1000～1500ℓの水、チッソ成分で1kg位)を行ない果の肥大と草勢の維持をはかる。
- ③主枝摘芯は冬期の弱光線下での収穫では下節位へ採光のため低目(150cm前後)が良い。
- ④この頃から最低夜温を1～2℃あげる。

本葉10～15枚位

徒長させぬようにしながら旺盛に生育させる。

- ①夕方むし込んで徒長させない。(暖冬時に注意)
灌水は少しずつ回数により調整するが、あまり水は控えず換気により充実した生育をはかる。
- ②雌花開花は芯から6節目を目標に旺盛な生育を。
- ③主枝の果は草勢が強くても8節(弱ければ10節目位迄)までは摘除する。
- ④下位側枝は粗植で込んでいなくてもベッド表面より25cm(3～5節)は摘除する。
- ⑤一輝1号台木の貝ワレ葉(子葉)はキュウリが12～13節に生育した天気の良い日に除去する。

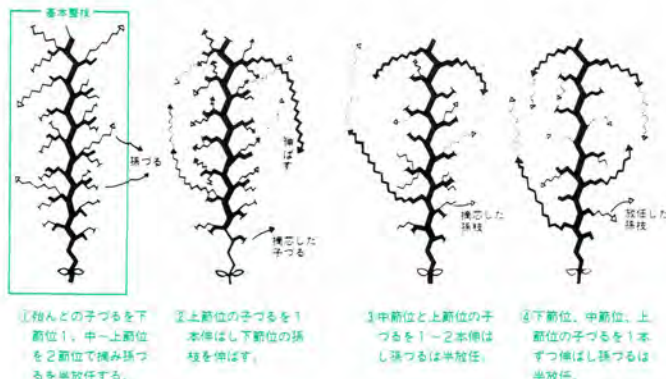


整枝

●上、中、下節位に常に勢いの良い芯と伸長葉を残す。

- ①一輝1号台木はウルトラ南瓜や低地温時期の黒ダネ台木より草

勢が幾分弱い為根の吸肥、吸水量が少なめなので初期から果の肥大が早くなりつづけて果の肥大が始まったら生殖生長に傾き易いので強摘芯、一斉摘芯をさけ全体に常に生長点を残すような整枝が良い。



- ①穂などの子づるを下節位1、中～上節位を2節位で残し摘芯する。
- ②上節位の子づるを1本伸ばし下節位の孫枝を伸ばす。
- ③中節位と上節位の子づるを1～2本伸ばし孫枝を伸ばす。
- ④下節位、中節位、上節位の子づるを1本ずつ伸ばし孫枝を伸ばす。

長期に亘り秀品、多収穫とするために

- ①下節位に孫枝が発生し、込んできたら、古葉、日陰葉を中心に摘葉する。
- ②カーテン管理に注意し、温、湿度を急変させない。にわか晴天や、風の吹く晴天等はカーテンで日除けも可→シオレ厳禁
- ③冬の晴天の午前中は高目気温と多湿度管理(地温の高くなる長日時期は涼しく多湿に。)
- ④子づる孫づるで伸びにくいものは放任し、伸びるもののみ先端摘芯。※強い草勢を維持するため灌水、追肥や乾いた日の湿度保持に注意を払う。
- ⑤ハウスでの温度管理の基準

※日中、夜間とも高目の気温管理をするときは湿度も高目にする。
※晴天の午前中は、カーテンを開けるのが遅れてもハウス内の湿度を十分に。

		晴天	曇・雨天
冬 低地温 時期	朝～午後 2時迄	28～32℃	20℃
	午後2時～ 夕方迄	20～25℃	17℃
	夜	13～14℃	11～12℃
秋・ 春	午前中	26～28℃	20℃
	午後	20～23℃	17℃
	夜	12～16℃	12～13℃

- ⑥暖房栽培では4月以降の長日、強光線の時期になると日中の呼吸量や蒸散量が増え、葉の老化、草勢低下につながるの、多回数の少量ずつ灌、散水で水分や湿度を補うと良い。

病気を出さない広げないために

- 健康作り→草勢を強く栽培しそれを維持する。
- 農薬を利用し、薄めの濃度で予防散布。
- 曇雨天の日中(冬期)
午前中20℃の暖房 } 除湿して病菌がはびこらない。
午後 18℃の暖房 }
- 地温が下がらず又、光合成が行なわれるので健康となる。
- 暖かい夜間に時折暖房機が回るように工夫して湿度を下げる。
- 多湿時期に通路にワラマルチングや乾燥時には散水して適湿を保つ。

ブルームレス台木 **OS** 交配 一輝1号南瓜

きゅうりの品種や作型、草勢、天候、土質等を越えてブルームがつかず、ピカピカ胡瓜が一貫して収穫できる画期的な台木である。

特 性

- ① いかなる栽培条件でも果にブルームが極めて少ない。
- ② いかなる栽培条件でも果はピカピカと照り輝いて美しい。この種の台木としては濃緑で光沢最良と評価されている。
- ③ 親和性が強く接木活着率が高い。
- ④ 土壌適応性が広く、土壌病害に強い。
- ⑤ この種の台木としては種子が大きく、茎は太目、子葉が濃緑色でしっかり生育する。
- ⑥ 作型の巾広く12月～8月播種の半促成、トンネル、夏秋ネット、雨除け夏穫り栽培とハウスや露地抑制栽培の2月～12月に収穫する作型に良い。
- ⑦ 草勢が中位となり過繁茂になりにくく、整枝が省力となりかつ果の肥大が良く秀品率が高い。

一輝(一輝1号、ストロング一輝)とキュウリの最適品種

●台木と穂木の最適組み合わせで高収益を…

《適する品種》

- 促成栽培 — シャープ1・5・7
- 半促成栽培 — シャープ1・3・5・7
- 雨除け栽培 — 爽風、ウインク、北宝1・2号
- ハウス抑制栽培 — 貴婦人ニュータイプ、濃緑節成り、爽風、北宝1・2号、イーセブン
- ハウス晩期抑制栽培 — シャープ1、イーイレブン、さいたけ、貴婦人ニュータイプ
- 越冬栽培 — シャープ1・5、イーイレブン
- 露地トンネル栽培 — 北宝1号、クライマー1号
- 前進夏秋栽培 — 北宝1・2号、クライマー1号
- 夏秋栽培 — 北宝2号、クライマー1号
- 露地抑制栽培 — あきみどり、貴婦人、クライマー2号

- ひときわおいしいきゅうり — ハウスにウインク、露地にクライマー
- かわいくおいしいミニタイプ — 親指姫、かぐや姫



きゅうり・かぼちゃ育種
株式会社 **埼玉原種育成会**
TEL.0480-85-0854代



OS交配種子・発売元

株式会社 **シード**
TEL.0480-85-7211代